

まき歯科新聞

第47号

〈毎月第3火曜日〉

※今月は都合により第5水曜日の掲載とさせていただきます。

11年目、初めの一歩☆

6月4日の『あんしんハウス島原・まき歯科合同10周年感謝祭』には、たくさんの方に来ていただき、誠にありがとうございました。誠にありがとうございました。10年間、改めて、たくさんの方に支えていただいていたことを実感しました。

おかげさまで、この10年間で、『まき歯科』という木の『根っこ』がこの島原にしっかりと根付きました。次の10年間は葉を広げ、枝をのびし、お世話になった皆様に涼やかな木陰を提供できるようにしたいものです☆

今回はそんな『根』のお話。今までよく『歯の根』について書くことがありましたが、本日は『根のでき方』について。只今、ヒッカビカの小学校1年生の長女の口の中には、現在3本の6歳臼歯がしっかりと頭をだしています。次女・三女・四女に至っては、まだまだ乳歯だから染ちん♪♪と余裕綽々と、仕上げ磨きをしていらした。娘たちの歯をせっせと磨いております。

確かに6歳前後で生えてくるから『6歳臼歯』とよばれる、大人の大きな奥歯ですが、歯の頭が出てきたからといって、実はその歯全体が完全に出来上がっている訳ではないのです。頭が口の中に出てきたら、顎の骨の中では、歯の根の部分が急ピッチの自転車操業でつくられていきます。つまり、根が完成してないうちに、既に歯の頭は口の中にあり、『歯』としての機能ははじめる訳

です。それではどの位かかるかというと、歯の頭におくれることおよそ3年前後で、歯の根が完成します。完成するこの頃は、神経と血管の通る部分を残して、硬組織で閉鎖してしまおうということです。では、それまではというと歯の根は骨の中でラッパ状に開放したままになっています。

そのため、生えてきたばかりの歯を押すとグラグラしやす(抜ける前程ではありませんが)のは、まだ根が完全に出来上がっていないからなのです。機能としては問題ないのですが、一番厄介なのは、この時期に神経の治療が必要となるむし歯ができてしまうこと。

神経の治療の際には、強い痛みが伴うため、私たちは麻酔を使っていますが、歯の根が閉鎖していないと、麻酔の成分が周辺に散ってしまつて、なかなか効きづらいのです。また神経の治療がすんだら、歯の中につめものをしているのですが、これまた根が閉鎖してないと、治療が一時的なものになつたりと、とにかく歯医者泣かせ。いえもちろん一番泣きたいのは強い痛みに耐えるご本人(泣)！

お互いに枕を涙で濡らさぬように、奥歯が生え始めるこの時期にはとにかく検診がおすすめです。後1ヶ月もすれば、冷えたビールや冷たいかき氷がまららない季節☆ぜひその前に、一度自身のお身体のメンテナンスをして、夏の味を思い切り楽しみたいものですね！

月～金曜 10:00～12:30/14:00～20:00
土・祝日 10:00～14:00

診療時間

歯科・小児歯科・口腔外科・矯正歯科
※訪問診療も行っております。

診療科目

健口から健康のお手伝い

まき 歯科

院長 副島真紀

島原市上新丁 1-4158-1 あんしんハウス島原 1F TEL.64-5077

